

(13) NIE 研究会

会 長 濱口 明大（東中筋小）
副会長 清家 利華子（蕨岡小）
事務局 弘瀬 栄美（竹島小）

1. 研究主題 「新聞を活用した言語活動の充実」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和6年 5月7日(火)	四万十市教育研究会組織総会 内容：役員選出、研究主題設定、年間計画	四万十市立 中村中学校	12名参加
7月23日(火)	四万十市教育研究会 夏季研修会 第1回学習会 講話・講演「伝わる記事の書き方と新聞紙面の作り方」 「新聞活用でつきたい力」 講師：高知新聞社読もっかNIE編集部 青木 一英 様 香南市立佐古小学校長 梶原 和美 様	四万十市立 東中筋小学校	11名参加

3. 今年度の取組

○夏季研修会

- ・昨年度に引き続き、2部構成での学習会を行った。1部では、高知新聞社読もっかNIE編集部 青木一英様より、「なぜNIEなのか」というNIEに関する基礎や、実際の新聞や過去の学校新聞づくりコンクールの作品等をもとに、伝わる記事の書き方と新聞紙面の作り方について講演していただいた。2部では、香南市立佐古小学校長 梶原和美様より、「新聞活用でつきたい力」について、講話・演習を行っていただいた。NIEアドバイザーとしての実践をたくさんの資料とともに惜しみなく伝えていただき、新聞活用でつきたい3つの力「①語彙力②テキストから必要な情報を選択して自分の考えをまとめる力③考えて書く力」を体験を通して学ぶことができた。全体を通し、2学期からの実践に繋がられる、多くの学びがあった学習会となった。

～研修後の参加者アンケートより～

- ・楽しく学ぶことが出来ました。新聞活用で児童の学力が伸びることは理解していましたが、具体的にどうすればよいのかが分かってすごくなりました。まずは自分自身が学ぶことです。
- ・新聞づくりについては、自分では書き方（作り方）などについては、意識をしていたつもりでしたが、見出しや写真のレイアウトなどを工夫することで新聞がきれいに見えるということも確認することができました。
- ・様々な演習があり、楽しみながら研修を受けることができました。少し工夫するだけで、楽しく学ぶことができることを再確認でき、2学期から実践できる事例があり、勉強になりました。

- ・青木さんのお話も、梶原校長先生のお話も、とても興味深く楽しく聞かせていただき、「NIE、がんばろう！」という気持ちにさせていただきました。青木さんは、新聞記者という立場から、新聞づくりのこつを教えてくださいました。見出しのつけ方、記事の1段落目は内容の要約になっていること、記事の中の見出しや写真、記事の配置方法等、お話を聞く中で、伝えたい内容を新聞でうまく伝える方法を学ぶことができました。梶原校長先生は、豊富な実践を具体的に資料を使って紹介してくださいました。「新聞広告から情報を読み取る」活動がとても楽しく、大人でもああでもない、こうでもないと思いを絞って考えました。教師自身が楽しくNIEに取り組むことで、きっと子どもも楽しんで取り組むことができ、語彙力、考える力、読み取る力、書く力等がついていくのだと思いました。それとともにつけたいと感じたのが、理由を吟味する力。自分の考えをしっかりと根拠を持って伝えることのできる子どもを育てたい。そのために新聞を役立てることができたら・・・と思いました。今回の研修で学んだことや「NIEがんばろう！」という気持ちを忘れず、2学期以降の実践に生かしていきたいと思います。
- ・とても参考になることがたくさんあった。新聞の構成や書き方などを知ることができ、読み手に伝わりやすくするための工夫を児童とも共有し、新聞づくりを行っていききたいと思った。新聞を活用した授業づくりや取組について梶原先生から学ぶことができた。本校でも実践しようと思ったことがたくさんあった。
- ・NIEを通し、子ども達にどんな力をつけられるか、具体的にイメージをしやすい、とても分かりやすい研修でした。新聞記事の1番の要約が見出しであること、見出しは11文字前後で、「何がどうしたか」の内容がまとめられていることを聞き、新聞の見出し予想など、「見出し」に着目し、記事の内容を読み解く言語活動をもっとたくさん取り入れてみたいと思いました。また、今回の研修を受け、各学年に応じて、新聞を楽しみながら読解力の向上を目指せることが、NIEの魅力だなと感じたため、系統的にNIEの学習を位置づけて、学校全体で取り組んでいけると思いました。広告の中に入る言葉を見つける活動は、中に書かれた言葉や文章、写真から想像力を働かせることができ、まさに、子ども達が言葉に敏感になる活動だなと思いました。私達が普段から、言葉に敏感であること、言葉によって心を豊かにすることで、子ども達が言葉に触れる機会や内容も豊かになると思うので、日頃から、私も新聞記事にたくさん触れて、色々な記事を子ども達と共有したいと思います。
- ・今日は、講話と演習があいまってとても有意義な研修となりました。高知新聞社の青木さんの講話は、「見出し」と「紙面整理」の二つの面から教えて頂き、具体的でとても分かりやすく、新聞の見方がよく分かりました。心に残っていることは、書くことが少なくなった昨今、「紙とデジタルを最適な形で組み合わせた学び」をすすめていくことです。香南市佐古小の梶原校長先生の1枚広告の演習等楽しみながら言葉の良さを学ぶことができました。子どもたちの学習もこのように目的をもって楽しく主体的に学べるといいですね。新聞を利用した学習の実践も沢山紹介してもらい、職場に持ち帰り、伝達していきたいです。子どもたちの語彙力を増やすことは、先ずは教師一人ひとりの語彙への意識を高めていきたいと思います。そのためにも「新聞」は身近にあり最適な教材であると改めて思いました。
- ・NIEの内容も、タブレットが導入されて以来、日進月歩で変化しているということを毎年強く感じています。新聞社さんの学校用のサイトなどは、この会で聞いていないと、活用できないと思うので、聞くことができて本当に良かったです。NIE＝情報教育・国語教育・社会教育でもあり、生徒の生きる力に直接つながる教育だと毎回実感しています。新聞の活用方法は本当に無限にあるなど、実感する内容でした。つい、忙しく手が回らないことが多いですが、教材研究や準備を手を抜くことなく行い、子どもたちが楽しんで学べる工夫を続けていきたいと思います。
- ・新聞作りについて見出し、写真の使い方、記事の割り付けなど多くのことを学ぶことができました。

国語の授業だけでなく、学級通信にもいかしたいと思いました。高知新聞 for スクールのスクラップシートも使いたいと思います。梶原先生の講話では、語彙や表現力を豊かにするための実践がとても勉強になりました。新聞の読みくらべや、折り込みチラシの言葉を考える問題は、実践してみたいと思いました。

- ・新聞記事のレイアウトの仕方や見出しの書き方など、新聞を書く際に役立つ内容を教えてもらうことができた。写真は、見出しの方向に向けるなど読み手に配慮したプロの技術を、今後、児童と新聞を作成する時に活かしていきたい。
- ・NIE アドバイサーの梶原校長先生の講話では、授業などで2学期からすぐ活用できそうな内容を教えてもらうことができた。新聞投稿に対する意見文を書く活動は、条件などもつけて書かせることで、「読む」「書く」力をつける一石二鳥の取り組みで参考にしたいと思った。

4. 今年度の成果と課題

〈成果〉

- ・昨年度同様、夏季研修会とNIE 全国大会の日程が重なっており調整を行うこととなったが、これまでの振り返りを活かし事前に複数の開催候補日を決めておいたことで、スムーズに開催日時や会場を設定することができた。
- ・講話だけでなく、演習を交えながら、各校へ帰った時にすぐに実践できそうな取り組みや活用できる資料を教えていただき、職員のやる気にも繋がっていることが当日の様子や振り返りから分かった。
- ・タブレットを持参してもらい、NIEに関する資料がある場所を実際を開いて確認したり、演習の中で調べる活動をしたりしたことで、「紙とデジタルを最適な形で組み合わせた学び」について、体験を通して学ぶことができた。

〈課題〉

- ・各校の取組を共有できる場（NIE クラスルーム等）をもつことができなかった。各校の実践や困り感を共有できる場があればよかった。

